



島高だより  
令和6年8月号  
(通巻第221号)  
長崎県立島原高等学校  
編集：教育企画部

校長室から

『学校行事、大好き!』 校長 渡崎次郎

「走るのが得意な人も、苦手な人もいるから、みんなで協力して種目を決めてくれ。」と言ったのは、教師になって3年目の私である。この言葉が効いたのか、意外とスムーズに体育祭の出場種目が決まっていた。しかし、女子100m走の選手があと一人決まらない。リーダーの女の子が提案した。「出場種目の少ない人全員でジャンケンしよう。それが平等よ。」反対意見もないので、ジャンケンが始まった。そして、一番走るのが苦手な女の子が負けてしまった。女の子は泣き出した。「何で泣くの？」リーダーの女の子が聞いた。女の子は答えない。ただ泣いているだけだ。たまりかねた別の女の子が、「私が代わってあげるよ。」と言ったが、「だめよ。平等にジャンケンしたんだから。ねえ。何で泣くのよ。」と、リーダーの女の子。すると、「私はきっとビリになる。そしたらみんなに文句言われる。」と小さな声で答えた。しかし、「ビリになったからって、文句言う人はこのクラスにいないわよ。」とリーダーの女の子に言われ、とうとう女の子は教室を飛び出していった。

次の日から、女の子は学校に来なくなりました。クラスでは緊急会議が始まった。「彼女の気持ちになって考えてみよう。」と私が言う。いろんな意見が出た。「やっぱり私が出ればよかった。学校に来てほしい。」とか、「先生は、彼女の味方ばかりしている。決め方に問題はなかったと思う。」「私だって走るの苦手だけど、我慢して走るのに。彼女は甘えすぎている。」などの厳しい意見もあった。結局、思っていることを手紙にして、女の子に渡すことになった。厳しい意見もそのまま渡すことにした。

手紙を渡してからも、女の子は学校に来なかった。毎日登下校の時に、何人かの友達が家に寄ってくれたのだが、全く返事がない。とうとう一週間が経ってしまった。今日もダメだったかと思っていた放課後、リーダーの女の子から連絡が入った。急いで近くの小学校に来てほしいということだった。慌ててかけつけてみると、小学校の校庭で、スタートの練習をしている女の子と、その横で一緒になって走っているリーダーの女の子がいた。涙が止まらなかった。

体育祭本番、女子100m走。我がクラスの大声援を受けて、女の子は一生懸命走った。でもやっぱりビリだった。しかし、まるで優勝したかのような拍手が巻き起こり、少し恥ずかしそうに微笑んだ女の子を優しく包み込んだ。この子たちに出会えて、本当に良かった。嬉しいことや楽しいことばかりではありませんが、私は学校行事が大好きです。これからも、積極的に学校行事に参加して、皆さんと一緒に素敵な思い出を作りたいと思います。

9月は青楓祭。素敵な思い出になりますように。



### 第1回オープンスクール

7月26日(金)にオープンスクールを開催しました。中学生とその保護者もあわせて240人以上の参加がありました。「島高紹介動画」や「探究活動体験」、「中学校別座談会」で中学生にもわかりやすく島高の魅力を伝えることができました。アンケートには、「不安や疑問をピンポイントに教えてもらえた」「率直でわかりやすく親しみのある対応だった」「アドバイスがリアルで面白かった」など、好評でした。さらに昼休みには、購買部に長蛇の列ができて大盛況でした。



午後からは「部活動見学・体験」で盛り上がりました。暑い中参加してくださった中学生、座談会や動画作成、司会などを担当してくれた島高の皆さん、本当にありがとうございました。(教務部 村上)

### 3年校内学習会

新年度を迎えようとしていた3月末、「先生、合格しました…。ありがとうございました。」と、声を震わせながらある一人の生徒から大学入試合格の連絡を受けました。「良かったな。本当に最後までよう頑張ったけんね、おめでとう。」と返した私も目頭が熱くなりました。この生徒は、部活動を引退した夏から目の色が変わり、本気で学習と向き合い、共通テストでは自己最高得点を叩き出しました。しかし、学校推薦型選抜と一般入試前期日程で2度悔し涙を流しました。クラスの友人が次々に合格していく中で諦めたくもなるところですが、挫けそうになりながらも、家族の支えもあり一途に学習を続けたことで、卒業式後に行われた最後の一般入試後期日程で見事合格を勝ち取りました。後日改めて職員室に挨拶に来てくれた際、「最後までよう頑張ったね～」と労いの言葉をかけると、「部活動で鍛えましたから～。あと、やればやるほど勉強が楽しくなってきましたよ～。本当に最後まで頑張って良かったです。」ニッコリと笑顔で答えてくれました。改めて『学習』が『ワクワクするもの』になれば、『自分自身で成長していけること』に気付かせてくれました。同時に、部活動の経験が生徒の心を支える土台になるということも教えてくれました。

3年生はいよいよ推薦入試が始まります。そして、共通テストまで150日を切りました。受験に向けて夏休みも校内学習会に取り組みました。希望の進路を実現するため、この努力を継続してほしいと思います。(進路支援部 山内)

### 9月の主な行事予定

1日(日)	青楓祭《体育祭》	14日(土)	進研模試(3年)
2日(月)	振替休日	15日(日)	進研模試(3年)
3日(火)	振替休日	24日(火)	考查時間割発表 部活動休止(～10/2)
4日(水)	進路講演会(3年)	7日(土)	青楓祭《文化祭》1日目
8日(日)	振替休日	8日(日)	青楓祭《文化祭》2日目
9日(月)	振替休日	9日(月)	振替休日
		30日(月)	中間考査(2年) ～10/3 学年末考査(3年) ～10/3
		10/1(火)	中間考査(1年) ～10/3

## 文理探究科 研修報告

夏休みは文理探究科にとって特別な研修の期間です。  
今年も大学訪問など様々なことに取り組みました。  
1・2学年の研修を報告します。

**2年生**は初めての宿泊研修。生活面でも、自分で考えて動く場面が増えてきます。

### ①7月24日～25日 理数探究 崇城大学研修

2日間を通して、ナノサイエンス学科・宇宙航空システム工学科・生物生命学科・薬学部・芸術学部の施設見学や体験講義に参加してきました。より専門的な知見に触れることで大学への興味・関心を深めることができました。



### ②7月29日～30日 国際探究 熊本研修

1日目は熊本学園大学で留学生との交流、2日目は熊本県立大学で英語英米文学科の模擬授業を受講した後、熊本城で歴史や震災復興について学びました。学校では聞けない話や体験を通し、将来を考えるきっかけの一つになりました。



### ③7月30日 理数探究 夏休み島高文理探究科実験教室

化学・物理・生物・算数・地学の5分野に分かれ、理数探究生徒が島原市内小学6年生と一緒に様々な実験を行いました。参加した児童と保護者の方々からはあたたかいお声をいただくことができ、高校生も「わかりやすく説明するには」「小学生に楽しんでもらうには」という視点で考える貴重な機会となりました。



**1年生**は、この夏に初めての校外研修に取り組みました。

### ①7月23日(火) 南島原市の有家川実習

有家川下流と鮎帰りの滝へ行き、水質や水生生物の調査を行いました。水生生物の調査ではプラナリアという生物が多く見付き、このことから川がきれいであることを学びました。川の水は冷たく、夏の暑さを忘れてしまうほどでした。



### ②7月29日(月) 長崎総合科学大学研修

微生物実験、船舶実験、プログラミング、医療機器の4班に分かれて学びました。どの班も実体験してみることで興味が湧いたり、初めて知ることがあったりして多くの学びがありました。

その道のプロの話聞き、自らの進路の考えに影響を受けた人もいたようです。



## 全国大会(インターハイ)成績報告 選手のみなさんお疲れさまでした!

陸上競技	個人 男子200m	林田真陽	予選9位 (22秒23)
	個人 女子100m	小鉢ひより	予選5位 (12秒39)
弓道女子	団体	小谷美咲 坂本結愛 大久保知紗 宮崎奏那 本多未乙 江川和奏	第7位
	個人	小谷美咲 大久保知紗	予選 第5位
剣道男子	団体	松尾奏汰 織田慶次 河野太一 矢葺尊 吉田隆之介 岩下雄大 相原右京	ベスト8
		織田慶次	優秀選手
剣道女子	団体	山田優生 中山琴葉 松崎穂乃佳 北山凜桜 時村歩実 川内優 児島和歩	ベスト8
		山田優生	優秀選手 2回戦
レスリング 男子	団体	小川大和 本村涼乃助 濱崎脩也 稲本康紀 城田健太 林田力丸 廣瀬和道 綿谷湊斗 亀川昂暉 濱崎康太郎	1回戦
		個人 55kg級	小川大和
	個人 60kg級	本村涼乃助	1回戦
	個人 65kg級	稲本康紀	1回戦
レスリング 女子	個人 68kg級	本多千遥	1回戦
少林寺拳法	個人	宮崎瑛太郎	予選